

金沢大学附属病院地域医療連携室東西奔走 より良いPFMの確立に向け、他大学を視察!!



福井大を現地視察！ 千葉大・富山大オンライン視察！

金沢大学附属病院地域医療連携室は、新中央診療棟建設に伴うPFM(Patient Flow Management)の構築を目指し、福井大学医学部附属病院への現地視察と千葉大学医学部附属病院、富山大学附属病院とのオンライン視察を行いました。予定入院患者への早期からの入退院支援に向けた準備が着々と進行しています。

令和3年11月5日(金)に福井大学医学部附属病院への現地視察を行いました。その後、11月16日(火)に千葉大学医学部附属病院のオンライン視察を行っています。そして、当初現地視察を予定していた富山大学附属病院でしたが、新型コロナウイルス第6派の影響もあり、オンライン視察に変更となりました。国立大学病院の多くがPFMを既に導入しています。視察により、各大学病院の業務の一端が明らかとなり、本院の目指す患者サポートセンター(仮)の創設に向けたイメージづくりの一助となっています。

多職種が協働して切れ目のない支援を行い、患者さんが安心・安全に医療を受け、よりよい療養生活を送ることができるよう、スタッフ一同決意を新たにしております。

サーモグラフ体温計& AIカメラ導入！

地域医療連携室では、新型コロナウイルス感染症「オミクロン株」が猛威を振るう第6派の真ただ中、「部局長戦略経費」にて、非接触型のサーモグラフ体温計と、36.0℃カメラを搭載したAIカメラをそれぞれ2台ずつ購入しました。サーモグラフ体温計は、地域医療連携室と入退院センター入口に配置してあります。AIカメラは最近急増しているWeb会議等にて、発言者をAIが36.0℃カメラで自動追尾し、フォーカスしてくれる優れものです。

どちらの機器も、コロナ禍以降も威力を発揮してくれること請け合いです!!



令和4年2月16日(水)にオンラインにて、がんサロン「ハーモニー」が開催されました。初めて参加された方2名を含め、5名参加くださいました。アンケートでは「満足」、「とても満足」という意見を頂き、大変うれしく思います。今回のテーマは「自宅でできる運動療法」と題し、理学療法士の村松僚太先生から講義をして頂きました。がん患者さんは、がんの症状や治療に伴って、筋肉の量や力が落ちるサルコペニアになり易いことや、サルコペニアはがんの治療、生存率、再発率に悪影響を及ぼすことを学びました。

サルコペニア予防には適切な食事と運動が必要。運動療法では筋力トレーニングや有酸素運動の紹介がありました。中でも動画でスクワット・踵上げ・その場足踏みの適切な動きを確認することができ、有酸素運動は、散歩やエアロバイク、階段昇降、足踏みなど、週3日～5日、10分～30分間生活の中に取り入れると良いことも興味深く聞かせて頂きました。

現在、コロナ禍の中、自宅で過ごす時間も多くなっていると思います。ぜひ、皆さんも無理のない程度で筋力トレーニング・有酸素運動を行ってみませんか。来年度もオンラインで開催していきますので、お気軽にご参加ください!



・筋力トレーニング・有酸素運動



- ・筋力トレーニング
無理は禁物ですよ!
- ・有酸素運動
エアロバイクや散歩など
10分～30分、週3回～5回
おこないましょう!